



みなさまこんにちは！先週のバレンタインデーは盛り上がりましたか？！日中は、ほのかに日射しに春らしさを感じることもありますが、毎朝、ふとんから出るのはまだまだつらいと感じる今日この頃です。

1月～2月にかけて、COPやREDD+に関する様々なセミナーが開催されました。プラットフォーム主催のセミナーにご参加いただいた皆様、お忙しいところありがとうございました。

さて、今号より、「森・ひと 最前線」と題したインタビュー形式のコラムを開始します。森林、持続可能性、低炭素などに関するご自身の考えや活動について、民間企業、NGO、有識者等の幅広い方の声をお届けできればと思っています。

## 🌳 セミナー開催のご報告

2019年1月23日（水）JICA市ヶ谷国際会議場にて森から世界を変えるREDD+プラットフォームセミナー“対話から行動へ～「ビジネス」×「森林保全」～”が開催されました。民間企業、省庁、NGO、その他公的機関等総勢約70名の方にご参加いただきました。

資料、プログラム等はこちら⇒ <https://www.reddplus-platform.jp/event/20190123/>

（※資料はREDD+プラットフォーム加盟団体会員サイトのみでの公開となります。）

## 🌳 インタビューコラム 『🌿 森・ひと 最前線 🌿』

今号より開始するインタビューコラムです。

第1回目は、REDD+プラットフォームのユースサポーターの赤塚 千春さんです。赤塚さんは、一昨年度に開催された森から世界を変えるソーシャルビジネスアワード（<https://www.reddplus-platform.jp/award2017/>）で優秀賞を受賞しREDD+プラットフォームオフィシャル特派員としてインドネシアに派遣されました。当時から現在も企業のCSR部門で活躍されています。



グループワークの様子。左が赤塚さん

### Q1. 2017年ソーシャルビジネスアワードに参加されたきっかけを教えてください

以前から環境問題や貧困に関心がありました。企業のCSR部門で働いていることもあり、問題を解決する方法としての事業のあり方を日々考えていました。また、過去に熱帯林に関わる仕事を担当していたので、自分にぴったりのイベントだと思い参加しました。気軽な思いで参加したものの、当日は講義もグループワークも非常に有意義な内容で、あっという間の一日だったのを覚えています。

### Q2. ユースサポーターとして活動された中で印象に残っていることや、今に活きていることがあれば教えてください

インドネシア派遣時に経験させてもらった数々のことは、全て自分の糧になっています。例えば、「熱帯林の保全」と「人々の生活」との両立、「持続可能な農作物の生産方法」の現場を見ることができました。また、現地ではポイ捨ての多さやごみが散乱している海岸に衝撃を受けました。昨年からは、日本でも海洋プラスチック問題が話題になっていますが、実態を見たからこそ、問題の大きさとその解決が急がれる理由が理解できます。環境問題を解決するには、人の行動もあわせて考えないと実現しないこと、そして、それは途上国のことだけでなく、私たち日本人にも当てはまることを改めて実感しました。

### Q3. 赤塚さんの現在のお仕事、今後の目標や夢について教えてください

CSR（企業の社会的責任）部門で、社員研修や社会貢献プログラムの実施、社内外への情報開示をはじめとした業務を担当しています。社会的責任に完璧はないため、責任を果たすため今後も活動を推進していきたいです。

ユースサポーターになったことで、年齢や仕事などバックグラウンドが異なる方と出会うことができ、自分の持っていない経験や考え方に触れ、たくさんの刺激を受けました。今後も、新しいことや人との出会いに恵まれるよう、臆せず初めてのことにチャレンジしていきたいです。

### Q4. 赤塚さんの森への思いや何かこころがけていることはありますか？

仕事を離れた個人としても、世の中に存在する問題の解決に貢献したいと思っています。

ボランティア活動が好きで、現在はあるNPOのチャリティ（リサイクル）ショップでの販売に携わっています。直接、森林問題の解決に貢献しているわけではありませんが、不要なものが新たな人のもとに行きますので、「物を大事にする」という意味では、環境に貢献できているとも言えます。売上はそのNPOの活動資金になりますので、少しでも商品がお客さんの手に取ってもらえるよう、毎回、ディスプレイを創意工夫しています。NPOの活動を応援したいのは当然ですが、お客様との会話もこのボランティアをする楽しみの一つです。

また、普段、買い物をする際には環境・社会に配慮された商品を選択するよう心掛けています。自分が共感できることを無理のない範囲で実践しています。

### Q5. 今後 REDD+プラットフォームで取り組んでみたいことがあれば教えてください

私がソーシャルビジネスアワードに参加したのが2017年7月でした。以降、多くの方との出会いや学びを得ることができました。ユースサポーターや事務局の方とは年に数回お会いしており、ソーシャルビジネスアワードでのご縁が今も続いていることに大変嬉しく思っています。次は、他の方がそういった機会を得られるよう、何かお手伝いができたらよいですね。企画作りやイベント開催時の運営に興味があります



昨年末のユースサポーター忘年会

## Facebook 更新情報

### ■ JICA プロジェクト Web サイト更新

- ・ホンジュラス「ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト」プロジェクトニュースが更新されました。  
<https://www.jica.go.jp/project/honduras/004/news/index.html> 日本語
- ・ペルー「森林保全及び REDD+メカニズム能力強化プロジェクト」プロジェクトニュースが更新されました。  
<https://www.jica.go.jp/project/peru/006/news/index.html>
- ・ベトナム「持続的自然資源管理プロジェクト」プロジェクトニュースが更新されました。  
<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/037/news/index.html> 日本語  
<https://www.jica.go.jp/project/english/vietnam/037/news/index.html> 英語版  
<https://www.jica.go.jp/project/vietnamese/vietnam/037/news/index.html> ベトナム語版
- ・マケドニア旧ユーゴスラビア共和国「持続的な森林管理を通じた、生態系を活用した防災・減災（ECO-DRR）能力向上プロジェクト」ニュースレターが更新されました。  
<https://www.jica.go.jp/project/macedonia/001/newsletter/index.html> 日本語  
<https://www.jica.go.jp/project/english/macedonia/001/newsletter/index.html> 英語

## 事務局からのお知らせ

『森から世界を変える REDD+プラットフォーム』では、官民連携による REDD+ 推進のため、民間企業、団体などの加盟を募集しています。

加盟申込方法などは、公式サイト (<http://www.reddplus-platform.jp/>) をご覧ください。

<加盟案内ページ>

<http://www.reddplus-platform.jp/team/>

● 2019年2月18日現在の加盟団体数は「91」です。

### 【REDD+プラットフォーム公式サイト】

日本語版：<http://www.reddplus-platform.jp/>

英語版：[http://www.reddplus-platform.jp/index\\_en.html](http://www.reddplus-platform.jp/index_en.html)

Facebook：<https://www.facebook.com/reddplusplatform>

### 【問い合わせ先】

森から世界を変えるREDD+プラットフォーム事務局（編集・発行担当：伊東、高田）

JICA地球環境部 森林・自然環境グループ内

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL:03-5226-6656 FAX：03-5226-6343

E-mail:redd\_platform@jica.go.jp

※名刺交換させていただきました方へもお送りしております。

※メールマガジンの配信停止をご希望の場合は事務局 ([redd\\_platform@jica.go.jp](mailto:redd_platform@jica.go.jp)) までご連絡ください。

なお、本メールと行き違いで配信停止、退会手続きをされた場合は何卒御容赦ください。

※併せて、本メールマガジンへのご意見、ご感想もお待ち申し上げます。